



# 地域で進めよう！雑草の少ない牧草地づくり

## 概要 Abstract

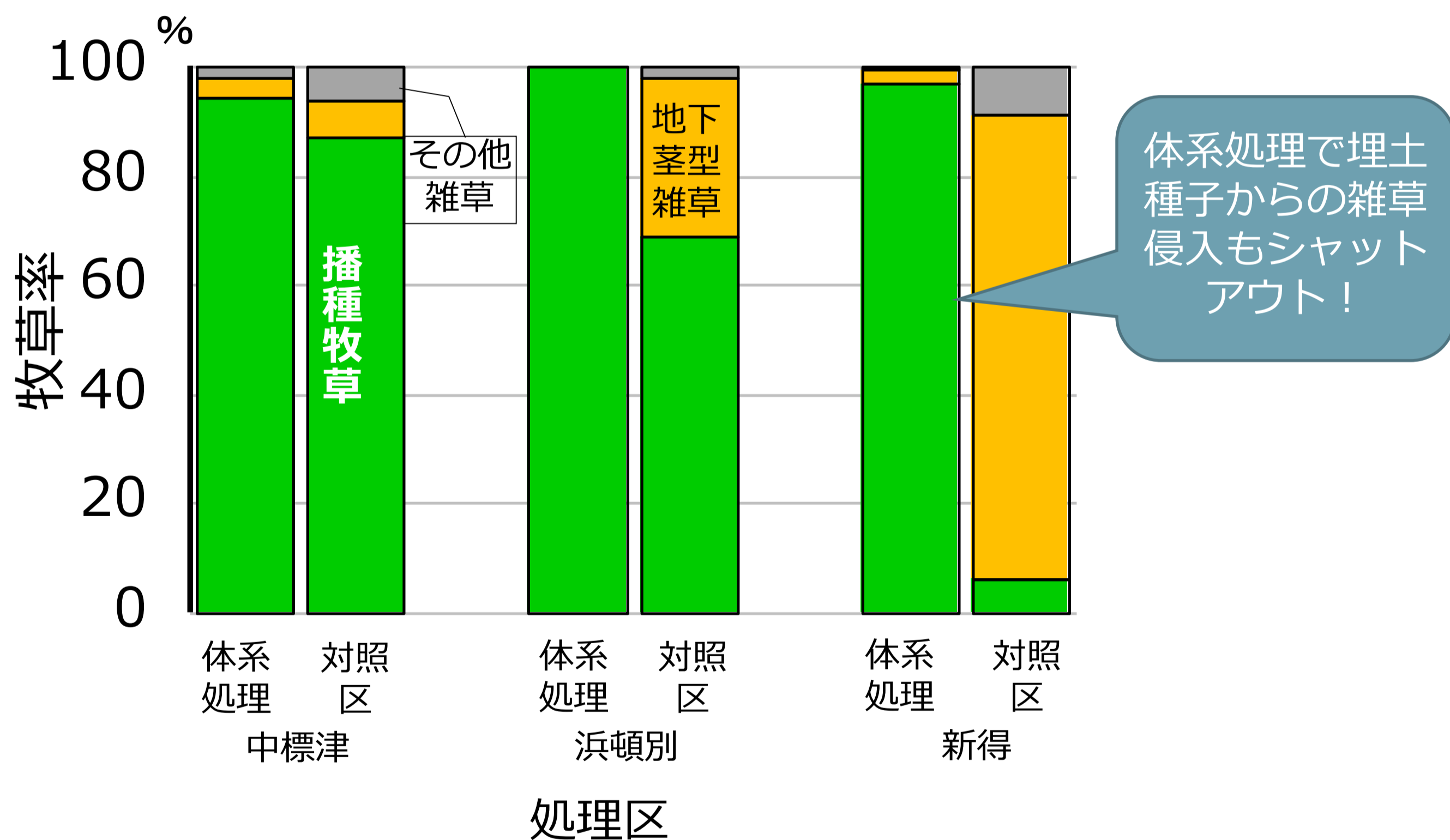
- リードカナリーグラスとシバムギが優占する草地には、前植生と播種床造成後に発芽した雑草へのグリホサート系除草剤処理の体系処理（2回処理）による草地更新で、牧草率90%程度の植生を確立できます。
- スラリー散布は草地更新後、翌年の最終番草までは散布を控え、その後は終番草後を除き刈取後は10日以内に散布することで植生が長持ちします。
- 草地の植生改善を地域で取り組む方法を示しました。



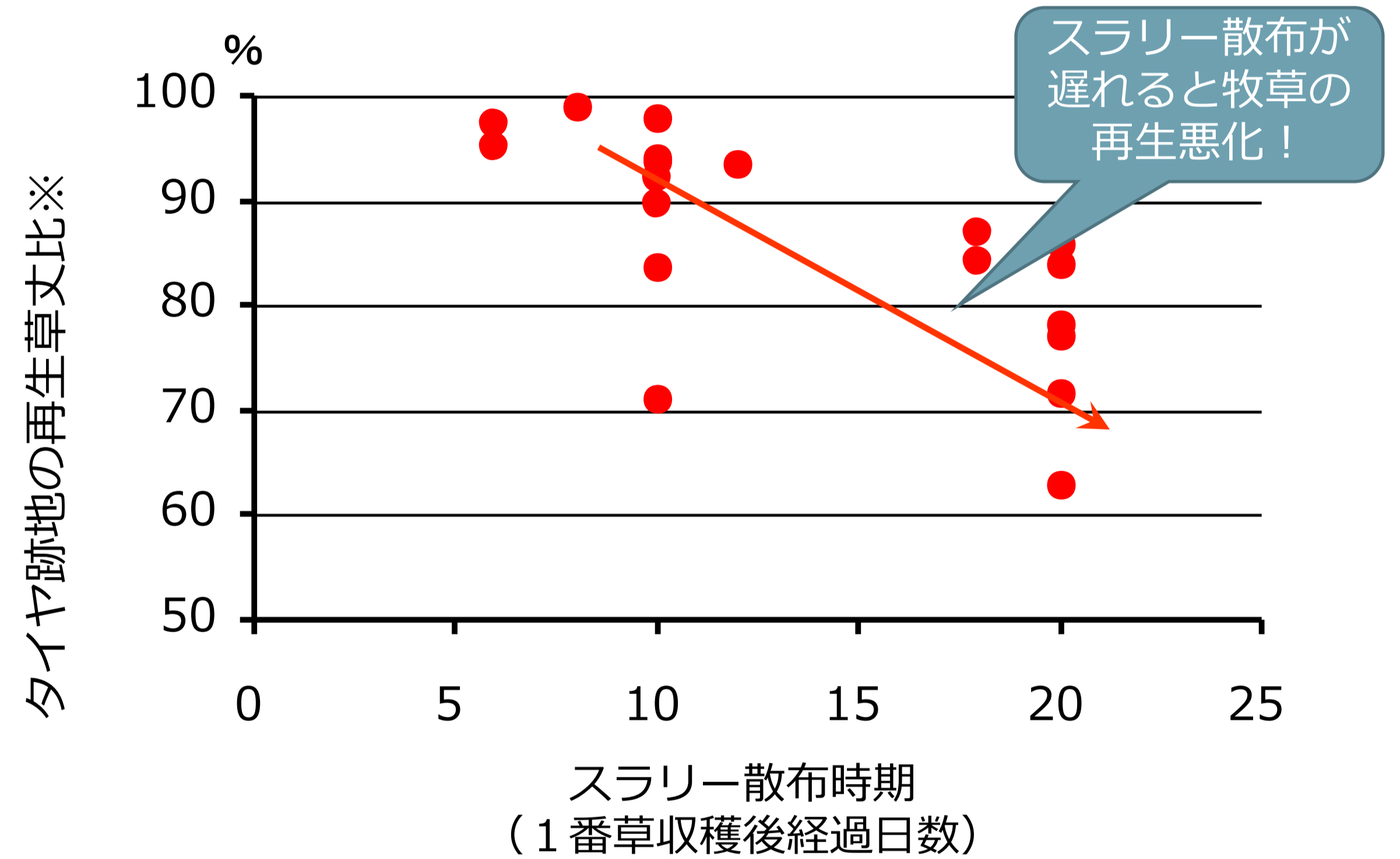
## 成果 Results

### 地下茎型イネ科草種に対応した千モシー採草地の植生改善指針

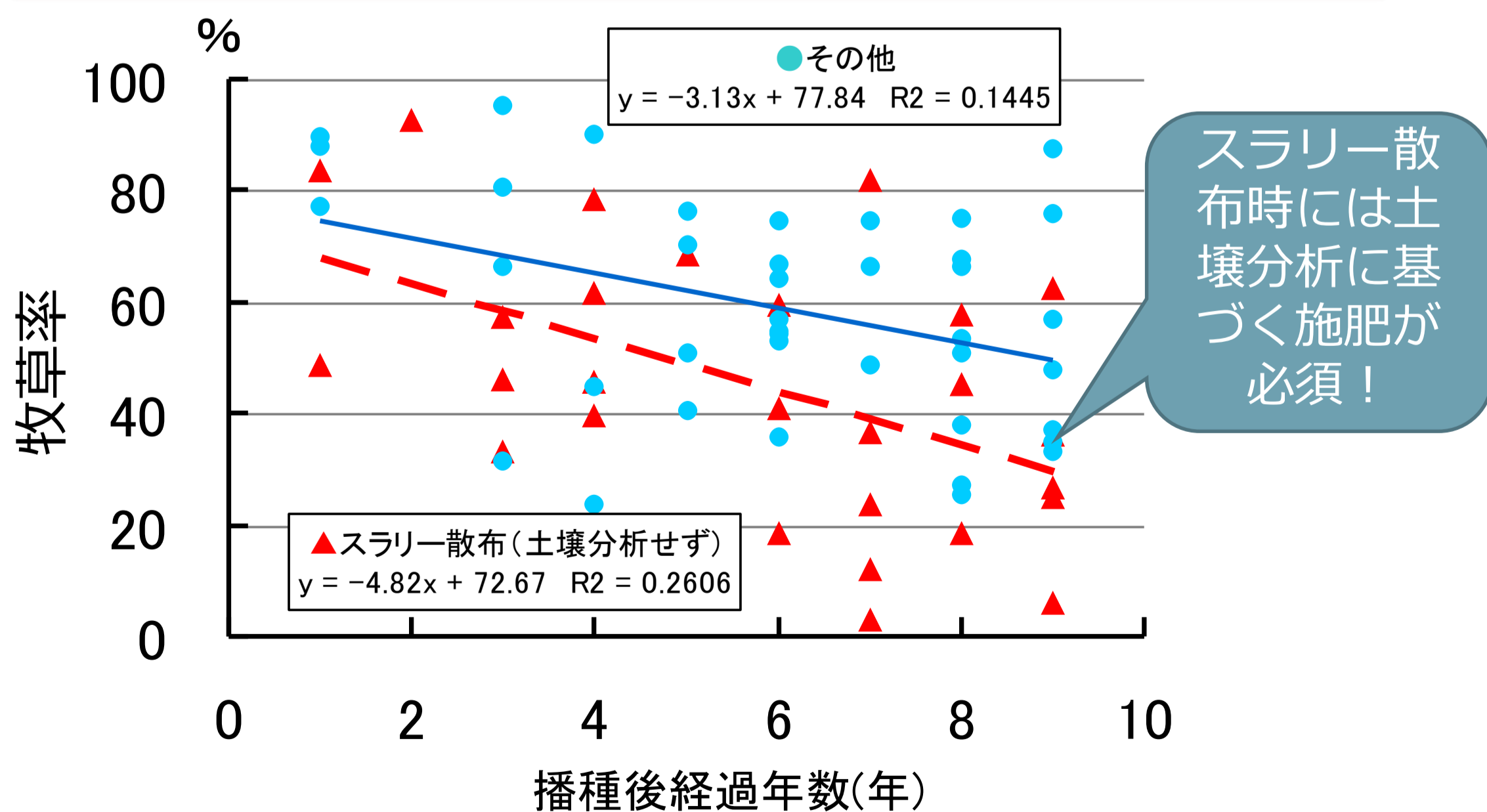
#### 体系処理により草地更新後の牧草率を高めよう！



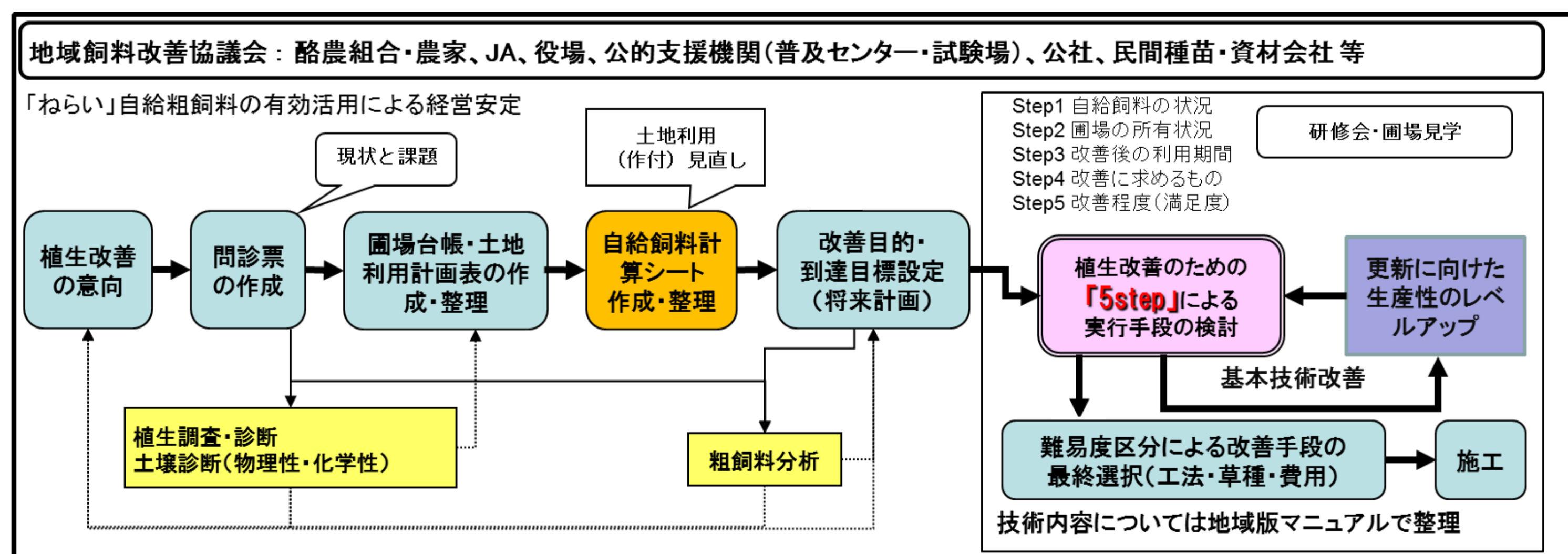
#### 牧草刈取後のスラリー散布は10日以内に！



#### 適切な施肥管理で高い牧草率を維持しよう！



#### 地域単位で植生改善に取り組もう！



## 普及 Dissemination

泥炭土壌では、グリホサート系除草剤の播種前処理（播種床処理）は避けてください。詳しくは「草地の植生改善マニュアル2016」を参照ください。

## 連絡先 Contact

道総研 畜産試験場 基盤研究部 飼料環境グループ  
0156-64-0621  
deguchi-kenzaburo@hro.or.jp